研究成果報告書 科学研究費助成事業

今和 4 年 9 月 1 日現在

機関番号: 27501

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2018~2020

課題番号: 18H03077

研究課題名(和文)ピアサポートによる中小規模事業所の看護管理者能力開発と地域ネットワーク推進の研究

研究課題名(英文) Research on competency development and regional network promotion of nursing managers in small and medium-sized hospitals and other medical facilities by

peer support

研究代表者

福田 広美 (Fukuda, Hiromi)

大分県立看護科学大学・看護学部・教授

研究者番号:00347709

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 4.600.000円

研究成果の概要(和文):本研究は,中小規模病院等の看護管理者が,看護の地域ネットワークを基盤に看護管理能力を高めるプログラムを開発し,能力開発のプロセスと効果を明らかにすることを目的とした.本研究の結果,中小規模病院等の看護管理者は,【人材育成の危機感から検討会を始める】【人材育成の悩みを共有し,根拠に基づき課題を探る】【対話を通して学び,人材育成の課題に気付く】【1年目の検討会を振り返り2年目の計画を考える】【気づきを活かして人材育成の改善に取り組む】【現場の人材の変化に気付き,次の改善を目指す】ことが明らかとなった.本研究のプログラムにより看護管理者が人材育成に関する看護管理能力を高めるこ とが示唆された.

研究成果の学術的意義や社会的意義 中小規模病院等の看護管理者は,限られた資源や環境の中で,質の高い医療や看護を提供する看護管理能力が 求められる.本研究は,中小規模病院等の看護管理者が,身近な地域のネットワークを基盤に,看護管理の能力 を高める新たなプログラムを開発し,看護管理能力を開発するプロセスおよび効果を明らかにした.本研究の成 果は,看護管理者がプログラムを通して地域の繋がりを深めながら看護管理能力を高め,医療や看護の質を高め ていくうえで一助となる.

研究成果の概要(英文): The purpose of this study was to develop a program for nursing managers to improve their management competencies based on the regional network of nursing, and to clarify the process and effect of competencies development of nursing management. We revealed the following process: [start a review based on a sense of crisis], [share concerns and search for evidence-based problems], [learn through discussion to notice problems in human resource development], [assess the first year of reviews and develop plans for the second year], [utilize what was discovered to work toward improving human resource development], and [notice changes in personnel on the job and plan the next series of improvements]. It was suggested that the program of this study could develop the management competencies of nursing managers.

研究分野:看護管理

キーワード: 看護管理

1.研究開始当初の背景

日本は超高齢社会を背景に医療の需要が増大しており(厚生労働省,2017),地域包括ケアを推進しながら効率的かつ質の高い医療を提供することが求められている.しかし,病院の約8割は300床未満の中小規模であり(厚生労働省,2018),看護職員の確保や定着など,医療や看護の質を維持するうえでの課題が報告されている(手島ら,2017).また,介護施設や訪問看護ステーションでも同様の課題を抱えている(日本看護協会,2016;平川,2019).

看護管理者は,人材の確保や定着,育成に重要な役割を担い,質の高いケアを提供するために,看護管理の知識やスキルを高めることが必要となる.しかし,中小規模病院では,看護管理者が管理上の困難を抱えていても,人手不足や研修費用の負担等から看護管理を学習する機会が少ない(撫養ら,2011).同様に,高齢者施設や訪問看護ステーションの看護管理者も研修を行う時間が十分に無いことが報告されている(神奈川県訪問看護推進協議会,2015).このため,多様な施設の看護管理者が,身近な地域で看護管理を学ぶ機会が必要となっている.

中小規模病院看護管理支援事業ガイドライン(以下,ガイドラインとする)は,学ぶ機会を要する中小規模病院に外部の支援者が訪問し,看護管理を高める支援が示されている.病院以外にも多様な施設の看護管理者が,共にネットワークを通して外部支援を活用できれば,看護管理を高められる可能性がある.しかし,ネットワーク型支援に関する事例は少なく,実例をもとにした実証研究が俟たれる.ネットワーク型支援の実証研究は,中小規模病院等の看護管理者が身近な地域のネットワークを基盤に看護管理を高める機会となり,自施設の看護管理の向上と共に地域の施設間の繋がりを深めるなど,質の高い地域医療や連携の点からも重要となる.

大分県では,保健所保健師が看護職の確保定着を目的に平成20年から二次医療圏ごとに地域の看護ネットワーク(以下,看護ネットとする)を事務局として運営し,病院や老人保健施設,訪問看護ステーション等の看護管理者が定期的な会議や研修等,協働する取り組みを行っている.しかし,看護管理者を対象に自施設の看護管理を高める活動は行われておらず,人手不足のなかで看護管理上の様々な課題を抱えている.

2.研究の目的

本研究は,中小規模病院等の看護管理者が看護ネットを基盤に看護管理能力を高めるプログラムを開発し,能力開発のプロセスと効果を明らかにすることを目的とした.

3.研究の方法

本研究はアクションリサーチの手法を用いてプログラムの開発を行った.以下に研究の方法を示す.

1)組織

本研究のプログラムの開発は,大分県中小規模病院等看護管理者支援協議会(以下,協議会とする)を中心に行った.協議会のメンバーは,大分県の看護協会会長,副会長,常務理事,福祉保健部医療政策課看護班の保健師,大学で看護管理学の教育に携わる研究者であった.協議会は,本研究に参加する看護管理者が看護ネットを基盤に看護管理の向上に主体的に取り組むことを基本方針とし,参加者の募集や参加者の支援を行う認定看護管理者の推薦を行った.

2)参加者と支援者

参加者の募集は、協議会を通じて県の地域保健課長会議で研究の依頼を行い、保健所保健師が、担当する看護ネットの会議で研究に参加する看護管理者を募集した.また,大分県看護協会の地区理事会議でも看護管理者に研究の参加を呼び掛けた.看護ネットの看護管理者が本研究への参加を希望した.参加者は,病院,老人保健施設,訪問看護ステーションの看護管理者の代表者および次世代の看護管理者であった.また,支援者として,認定看護管理者,保健師,研究者が参加した.

3)プログラム

プログラムは,1~2カ月おきに2時間程度の会議を開催し,小人数に分かれたグループセッションを行った.各グループは,看護ネットの看護管理者(参加者),支援者として認定看護管理者,大学教員,保健所保健師から構成された.

参加者は、現場の看護管理を改善しながら看護管理能力を高められるよう、セッションのテーマや内容、進め方等を主体的に決定した、また、事前に、所属施設の関係者と看護管理に関する現状を分析した、分析は、組織分析のフレームを活用し、医療機関や介護事業所用の看護管理評価ツールも使用した、参加者は、プログラムのセッションで分析結果をメンバーに伝え、看護管理に関する現状分析の共有と課題の明確化を行った、支援者は、参加者が看護管理能力を高めるため、参加者の主体性を尊重し積極的に意見や情報交換行えるよう支援した、また、看護管理の能力やモチベーションの向上に繋がるよう働きかけを行い、看護管理の専門的な知識や考えに基づくフィードバックを行った、参加者がメンバーとセッションを通して、看護管理の新たな視

点や考え方を深め,互いの施設を理解し,看護管理の課題を明らかに,看護管理課題の解決に向けた目標および計画立案,計画の実施に対する評価を行い,修正しながら看護管理の改善や向上に取り組んだ.

4. 研究成果

1)プロセスに関する分析結果

本研究のプログラムにおいて,人材育成を中心に取り組んだ地域の研究成果を示す.以下のプロセスが明らかになった.参加者は【人材育成の危機感から検討会を始める】ようになり,【人材育成の悩みを共有し,根拠に基づき課題を探る】なかで【対話を通して学び,人材育成の課題に気付く】ことができた.さらに【1年目の検討会を振り返り2年目の計画を考える】段階を経て,それぞれの参加者が【気づきを活かして人材育成の改善に取り組む】ことで【現場の人材の変化に気付き,次の改善を目指す】6段階の変化が明らかになった.以上の6段階について,以下に詳細を示す.

第1 段階【人材育成の危機感から検討会を始める】は,参加者の中で中心となる人材が,参加者の共通課題である人材育成に対する危機感を切っ掛けに,共通課題の解決に取り組む熱意をもち,新たな取り組みに対する不安を感じる参加者の気持ちを一つにして,看護ネットを基盤に人材育成に関する看護管理の向上にむけた検討会を始めた.第2 段階【人材育成の悩みを共有し,根拠に基づき課題を探る】は,参加者同士が人材育成の悩みを共有することを通して前向きなり,自施設の現状分析について勇気を出して話し合うことや分析を通して根拠に基づき課題を探る取り組みを行った.第3 段階【対話を通して学び.人材育成の課題に気付く】は,参加者同士が互いに人材育成について学びあう姿がみられ,人材育成の重要な点を再認識するなかで良い面や課題に気付くことになった.第4 段階【1 年目の検討会を振り返り2 年目の計画を考える】は,参加者が、1 年目の検討会を振り返ることで効果や課題を出しながら,2 年目の計画を考える様子がみられた.第5 段階【気づきを活かして人材育成の改善に取り組む】は,参加者が気づきをもとに人材育成の改善を始めるなかで,新たな課題に気付くことや新たな壁にぶつかる困難を感じながらも参加者や支援者からアドバイスを得て取り組みを進めた.第6 段階【現場の人材の変化に気付き.次の改善を目指す】は,参加者が人材育成の改善に取り組む中で現場の人材の変化に気づくようになり次の改善を目指す取り組みを始めていた.

2) プログラムの効果

参加者は本研究のプログラムに参加し,6段階プロセスを通して,看護管理に関する認識を変化させ,改善に繋げることができていた.また,参加者がプログラムに参加するプロセスで互いに支え合う気持ちを高めていた.

(1)参加者の看護管理に関する認識の変化

本研究の参加者は、現場の看護管理について現状を振り返り、他の参加者と意見交換を行う中で管理者としての視点や問題のとらえ方の不足に気付いていた。また、支援者の助言に学ぶことが多いと感じていた。例えば、教育体制の課題については、現場の人材と向き合い育成について話し合うことや、組織的に取り組むことの重要性を再認識し、教育体制の構築に取り組んだ。また、職員一人一人に働きやすい環境を考え、様々な看護管理の課題に対して組織的に取り組む力を高めていた。以上、参加者がプログラムを通して看護管理に関する認識を変化させ、看護管理の改善に向けて活動する等、看護管理能力を高めることが示唆された。

(2)参加者同士の支え合い

本研究では,多様な施設の参加者が互いに悩みを語りあうなかで,共通の課題を持つことに気づき,施設の壁を越えて,互いに理解を深めていた.また,共通の課題に対して,互いに支え合いながら対策を考えるなど,プログラムに取り組むプロセスにおいて絆を深めていた.

以上,本研究は,中小規模病院等の看護管理者が,身近な地域のネットワークを基盤に看護管理の能力を高めるプログラムを開発し,看護管理者が看護管理者同士の繋がりを深めながら管理能力を高める効果があると考えられた.

5 . 主な発表論文等

オープンアクセス

オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難

〔雑誌論文〕 計5件(うち査読付論文 3件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 0件)	
1. 著者名 福田広美,原田千鶴,副田明美,田辺美智子,河野壽壽代,大戸朋子,竹中愛子,村嶋幸代	4.巻 25
2.論文標題 中小規模病院等の人材育成に関する看護管理向上のプロセス 地域の看護ネットワークを基盤としたアク ションリサーチ	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 日本看護管理学会誌	6.最初と最後の頁 118-128
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.19012/janap.25.1_118	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 坂本貴子,福田広美,村嶋幸代	4.巻 41
2 . 論文標題 中小規模病院に勤務する看護師の職務継続意思につながる看護師長の基本的心理欲求支援行動評価尺度の 開発	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 日本看護科学会誌	6.最初と最後の頁 815-823
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.5630/jans.41.815	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 坂本貴子,福田広美,上田智之,下條三和,田渕康子,村嶋幸代.	4.巻 20
2 . 論文標題 看護師の職務継続意思と看護師長からの基本的心理欲求支援行動 - 中小規模病院に勤務する看護師調査 -	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 インターナショナルNursing Care Research	6.最初と最後の頁 9-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 大分県立看護科学大学 教授 福田広美,原田千鶴,大戸朋子,庭瀬朋美,荒木章裕,姫野雄太 矢野亜紀 子,村嶋幸代	4.巻 27
2 . 論文標題 2 . 論文標題 大分県独自の看護管理者支援事業 地域ネットワークで看護管理能力を向上 集い、解決し合う場づくり	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 看護のチカラ	6.最初と最後の頁 36-43
 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 無

国際共著

1.著者名 坂本貴子,福田広美,村嶋幸代,下條三和.	4.巻 15
2.論文標題 看護職の勤続年数に着目した職場定着につながる要因とマネジメントーアウトカムモデルによる文献レビュー	5 . 発行年 2020年
3.雑誌名 帝京大学福岡医療技術学部紀要	6.最初と最後の頁 15-28
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

〔学会発表〕 計27件(うち招待講演 0件/うち国際学会 0件)

1.発表者名

村松桂子,浅井和恵,大戸朋子,原田千鶴,福田広美,村嶋幸代,他

2 . 発表標題

大分県佐伯地域の看護ネットワークを基盤とした中小規模病院等看護管理者支援事業 ~ 小規模病院における看護管理の向上:スタッフ育成と業務改善 ~

3.学会等名

第51日本看護学会-看護管理-学術集会

4 . 発表年 2020年

1.発表者名

丸山たみえ,伊東郁子,大戸朋子,原田千鶴,福田広美,村嶋幸代,他

2 . 発表標題

大分県佐伯地域の看護ネットワークを基盤とした中小規模病院等看護管理者支援事業 ~ 中規模病院における看護管理の向上:次世代の看護管理者とスタッフの育成 ~

3 . 学会等名

第51日本看護学会-看護管理-学術集会

4 . 発表年

2020年

1.発表者名 松行久美

2 . 発表標題

精神科・認知症看護の専門性を発揮した精神科病院をめざして~地域包括ケアシステムに向けた人材育成と体制の構築~

3 . 学会等名

令和2年度大分県中小規模病院等看護管理者支援研修

4 . 発表年

2020年

1.発表者名 筒井久美,小幡真琴	
2 . 発表標題 現場の看護をよくする管理者の役割~病院と訪問看護の連携強化を通して~	
3.学会等名	
令和 2 年度大分県中小規模病院等看護管理者支援研修	
4 . 発表年 2020年	
1. 発表者名	
丸山たみえ	
2. 発表標題	
平成30 年・令和 1 年度南部地域看護管理者支援事業に参加して	
3.学会等名	
平成30 年・令和 1 年度南部地域看護管理者支援事業に参加して	
4 . 発表年 2020年	
1 . 発表者名 中小規模病院に 1 年以上勤務する看護師の継続意思と看護師が求める看護師長による欲求支援行動との関連	
2.発表標題	
坂本貴子,福田広美,下條三和,吉原駿,村嶋幸代	
3 . 学会等名	
第 25 回日本看護管理学会	
4 . 発表年 2021年	
1 . 発表者名	
相部英美子	
2.発表標題	
次世代を担う看護管理者の人材育成	
3 . 学会等名 令和 3 年度大分県中小規模病院等看護管理者支援研修	
4.発表年	
2021年	

1.発表者名
安部美保
2.発表標題
国東地域 訪問看護ステーション管理者の取り組み
3.学会等名
令和3年度大分県中小規模病院等看護管理者支援研修
2021年
1
1.発表者名
2. 発表標題
地域の高齢者を支える認知症看護への取り組み
3 . チェマロ 令和 3 年度大分県中小規模病院等看護管理者支援研修
4.発表年
4. 完表中 2021年
1.発表者名 甲斐清美
2 . 発表標題
看護管理者研修を実践しての現状と課題
3.学会等名
令和 3 年度大分県中小規模病院等看護管理者支援研修
/
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 村松桂子,浅井和恵
מאוויראי ז בבו אונו
2. 発表標題
南部地域における看護管理を高める取り組み
3.学会等名
3 . チェマロ 令和 3 年度大分県中小規模病院等看護管理者支援研修
4 . 発表年 2021年

	1.発表者名 副田明美、竹中愛子、大戸朋子、原田千鶴、福田広美、村嶋幸代
	2 . 発表標題 大分県豊肥地域の看護ネットワークを基盤とした中小規模病院等看護管理支援事業 ~ 次世代の看護管理者育成に取り組んで ~
	3 . 学会等名 第23回日本看護管理学会学術集会
	4 . 発表年 2019年
	1.発表者名 田辺美智子、竹中愛子、大戸朋子、原田千鶴、福田広美、村嶋幸代
	2.発表標題 大分県豊肥地域の看護ネットワークを基盤とした中小規模病院等看護管理支援事業~スタッフ育成グループの取り組み~
	3 . 学会等名 第23回日本看護管理学会学術集会
	4 . 発表年 2019年
	1.発表者名 高森洋子、疋田利惠、池田裕美、福田広美、村嶋幸代
	2.発表標題 保健所を核とする「看護の地域ネットワーク」を活用した看護管理者支援の取組み
	3.学会等名 第78回公衆衛生学会総会
	4 . 発表年 2019年
Γ	1.発表者名 渡邊律子、平松深雪、竹中愛子、大戸朋子、原田千鶴、福田広美、村嶋幸代
1	皮发注了。

大分県豊肥地域の看護ネットワークを基盤とした看護管理の向上にむけた検討会 ~ 人材不足の弱みを強みに変えて現場の力を生み出す取り組み~

2 . 発表標題

4 . 発表年 2019年

3. 学会等名 第50回日本看護学会-看護管理-学術集会

1.発表者名
福田広美、原田千鶴、村嶋幸代
2
2 . 発表標題 大分県中小規模病院等看護管理支援の実践報告
3 . 学会等名
日本看護研究学会第24回九州・沖縄地方会学術集会
4.発表年
2019年
1.発表者名
伊東郁子
2 . 発表標題
2.先表標題 新たな教育体制の中で「部署内学習会」を活かした取り組み
3 . 学会等名
令和元年度大分県中小規模病院等看護管理者支援研修
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
高森洋子
2 . 発表標題
2.光衣信題 佐伯地域看護ネットワーク推進事業中小規模看護管理者支援会議
3.学会等名
令和元年度大分県中小規模病院等看護管理者支援研修
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
神田浩子
2. 発表標題
2 . 光表標題 平成29年度・平成30年度豊肥地域看護管理者の向上に向けた検討会に参加して
3.学会等名
令和元年度大分県中小規模病院等看護管理者支援研修
4 . 発表年
2019年

1 . 発表者名 福田広美
2 . 発表標題 中小規模病院等の看護管理者支援を通して創る地域包括ケア
3.学会等名 2019年度大分県立看護科学大学公開講座
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 竹中愛子、大戸朋子、原田千鶴、福田広美、村嶋幸代
2 . 発表標題 大分県版中小規模病院等看護管理支援事業を行って
3 . 学会等名 第22回日本看護管理学会学術集会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 甲斐優子、池田裕美、福田広美、村嶋幸代
2 . 発表標題 保健所を核とする「看護の地域ネットワーク」を活用した看護管理者支援の取組み
3 . 学会等名 第77回公衆衛生学会総会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 甲斐優子
2 . 発表標題 看護の地域ネットワークを活用した看護管理者支援の取り組み
3 . 学会等名 平成30年度大分県看護の地域ネットワークサミット
4.発表年 2018年

1
1 . 発表者名 渡邊 律子
2.発表標題
看護管理の向上に向けた検討会~スタッフ育成~
3.学会等名
平成30年度大分県中小規模病院等看護管理者支援研修
4 . 発表年
2018年
1.発表者名
2.発表標題
看護管理を高める取り組みに参加して
3.学会等名
平成30年度大分県中小規模病院等看護管理者支援研修
4 . 発表年
2018年
1.発表者名
2 . 発表標題 中小規模病院等の看護管理者支援
中小規模例院寺の自護官理有又抜
3 . 学会等名
平成30年度公立大学協会看護・保健医療部会総会等
4.発表年 2018年
2010 "
1.発表者名
ー・元代音は 一 福田広美
2 改主価度
2 . 発表標題 大分県版中小規模病院等看護管理支援事業
八刀木IIX下小M1大II外I兀守住竣台往义及学未
3.学会等名
大分県立看護科学大学20周年記念研究紹介
4 · 完衣中 2018年

١	図書]	計1件	

, COOL , WILL	
1 . 著者名 手島 恵 (編集)、福田広美、村嶋幸代	4 . 発行年 2019年
2.出版社 日本看護協会出版会	5 . 総ページ数 ⁷
3.書名	
地域密着型病院の看護管理能力向上-指針と実践-	

〔産業財産権〕

〔その他〕

_

6 . 研究組織

_ 0	.妍允紐祹		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	村嶋 幸代	大分県立看護科学大学・看護学部・学長	
研究分担者			
	(60123204)	(27501)	
	原田 千鶴	大分大学・医学部・教授	
研究分担者	(HARADA Chizuru)		
	(80248971)	(17501)	

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------